

## 第6回協議会（勉強会）の概要について

### 1 日時

平成25年10月10日（木）15:00～16:30

### 2 出席者

松村佳子委員  
花山院弘匡委員長職務代理  
佐藤進委員  
森本哲次委員  
富岡將人教育長

### 3 テーマ

「人権教育と学力向上の取組について」

### 4 協議内容

#### （1）人権教育の取組について

事務局が、人権教育学習資料集「なかまとともに」について、作成までの経緯やねらい、活用推進に向けての取組等を報告した。

報告を受けて、委員から、教材の効果について質問が出た。事務局は、「教材を通じて子どもたちが主体的に深く考える機会を持つことができ、それが日常生活につながっている。」という実際に教材を使用した教員の感想を紹介した。また、委員から、「教材は、大変よくできているので有効に活用してもらいたい。」、「教材と現実の生活が乖離しないような指導が何よりも大切である。」等の意見が出た。

最後に、「子どもたちの意識を変えていくことは大変難しいが、今後も、様々な教科・領域や、その他学校生活のあらゆる場面で積極的に取り組んでいかなければならない。」ということについて共通理解をした。

#### （2）学力向上の取組について

次に、事務局が、本県の子どもたちの学力について、全国学力・学習状況調査の結果から、正答率は、全国平均をおおむね上回っているものの、経年比較からは低下傾向であり、勉強が「好き」、「よくわかる」と答えている児童生徒が全国平均と比べて少ない傾向であること、「好き」「よくわかる」と答えている生徒とそうでない生徒には、平均正答率で大きな開きがあったこと等を報告した。

また、課題解決に向けて、他府県での取組も踏まえながら、調査で課題の見られた問題の周知、練習問題の提供、補充的な学習サポート、子どもがつまづきやすい内容の授業モデルの動画配信等の具体的な取組案について説明した。

説明を受けて、委員から、「よく分かる授業づくりが最も有効である。」、「動画でモデル授業を示すことは時代のニーズにマッチしている。」、「単に知識

や技能を向上させるだけでなく、それを実際の生活の中で生かすことのできる力をつけることが重要である。」等の意見が出た。

最後に、「課題解決のためには、学力向上、学習意欲向上の双方向からのアプローチが必要である。」ということについて共通理解をした。

(3) 次回の協議会について

次回は11月15日(金)の予定で、へき地教育、規範意識の向上について議論を深めることにする。